



## 猪苗代町長 前後 公ひろし

明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、令和3年の新春を健やかに迎えのことう心からお喜び申し上げます。また、日頃から町政各般にわたり深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大している中、感染症対策の最前線で日夜懸命に対応いただいている医療従事者の皆様に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

また、町民の皆様および町内事業所の皆様には、長期間にわたり町内での感染予防対策にご協力いただき心より感謝申し上げます。

昨年は、暖冬の影響による雪不足に加えて新型コロナウイルス感染症の流行により、本町の主要産業である観光業のみならず町内全体の経済活動が悪化しており、その影響は今もなお続いております。「新たな生活様式」や「ウイズコロナ」の中で、これまで当たり前に行われてきたさまざまな活動が、

自粛や制限されるなどストレスや窮屈さを感じておられるかと思

ます。しかし、感染症拡大は事実であり、これからも生活し続けるためには私たちが向き合っていかなければならないのは現実であります。そのために町民の皆様と話し合い、知恵を出し合い、汗を流し、協力しながら安全・安心な生活が営めるよう努めてまいります。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、以前のような平穏な日常がもどることを祈願いたします。

さて、平成29年度にスタートしました「第七次猪苗代町振興計画」も、この4月から5年目となり計画の中間地点となります。評価、見直しを行いながら、まちづくりの基本理念である「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち猪苗代」に基づき、町政発展の実現を図ってまいります。

まずは、令和4年4月開校の統合中学校であります。いよいよ開校まで1年となります。統合中学校は地域を担う人材の育成に欠

かせない教育の充実と町の風土や文化を生かしながら「生きる力」「確かな学力」「健やかな体」そして豊かな人間性をはぐくむ教育の確立のためのものです。町の宝である子どもたちの未来のため、開校に向け全力で取り組みます。

次に延期となっておりました東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが3月に開催されます。世界的なビッグイベントが日本で開催されるのを機に、猪苗代町が日本がそして世界が新型コロナウイルス感染症に負けず飛躍する年にしたいものです。

最後に、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、町民の皆様にはこれまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして健やかで実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

# 年頭のごあいさつ



## 猪苗代町議会議員 渡辺 真一郎しんいちろう

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より町政並びに町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、経済活動や日常の暮らしにおいても不安や不便を感じられたことと思われます。まだ完全なる終息が見えない中、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな変化は避けられないものと思われます。

しかしながら、このコロナ禍の中においても皆様の多大なるご協力をいただき、感染被害を抑えつつ新しい年を迎えることができました。いかに町民の皆様が安全安心で住みやすい地域づくりを進めることが重要であるかを改めて痛感しております。

今年、ワクチンの開発が進むなど明るい兆しが見えつつあります。また、延期になっていた東京

オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催され、日本への入込客の増加も期待されているところ

です。本町におきましては、ガバナ共和国のホストタウンとして選手団をおもてなしの心でお迎えするとともに、オリンピック・パラリンピックの開催に向けて機運を高めてまいり所存であります。

2021年は十二支の丑年にあたり、牛が大変な農業を地道に最後まで手伝つてくれる様子から粘り強さや堅実さを表す年になるといわれています。焦ることなく、一歩一歩着実に物事を進める年にしていきたいと思います。

町議会といたしましても、開かれた、わかりやすい議会の実現に向けて、皆様の声が町政に反映できまますよう努力し、議員一同全力で取り組んでまいります。

新春に臨み、町民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、この苦難を乗り越え、新年が皆様にとりましてより良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



## 猪苗代町教育長 宇南山 忠明ただあき

新年明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、ご家族おそろいで健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、全国一斉臨時休業の要請があり、3月4日から春休み終了まで学校が休業となりました。これにより、こども園、小中学校の卒業式は、出席者が卒業児・児童生徒と教職員、保護者のみとなる寂しい卒業式になってしまいました。新学期に入り、入学式も卒業式同様に行われ、3密を避けながらの学校生活が始まりましたが、緊急事態宣言により4月22日から再び一斉臨時休業となりました。本町は、感染者が出ていないことから段階的に登校日を設け、5月25日から学校を再開しました。再開後は、「新しい生活様式」を取り入れた学校生活が始まりました。残念ながら中止や規模縮小となる行事もありましたが、各学校が感染症対策を徹底し、二学期か

らは少しずつ行事を行うことができました。特に修学旅行については、旅行先が変更となったものの無事に実施することができ、児童生徒にとって最高の思い出になったことと思ひます。

臨時休業による児童生徒の学習の遅れを取り戻すため、国の「GIGAスクール構想」の補助を受け、児童生徒一人一台のタブレット端末を全学年に順次整備することになりました。学校だけでなく家庭でも使用するため、インターネット環境整備や情報モラル教育など、保護者の皆様にもご協力をいただくこととなりますので、よろしくお願ひいたします。

昨年、コロナ禍の中話題となったものの一つに、本県出身の作曲家古関裕而氏がモデルとなったNHK連続テレビ小説「エール」があり、本町ゆかりの名曲「高原列車は行く」がドラマに登場しました。今年、ご家族そろって懐かしい軽便鉄道跡をぜひ歩いてみてはいかがでしょう。何か新しい発見があるかもしれませんね。